

○教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

1 カリキュラムの編成方針

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するために、5年一貫の教育課程の中において一般科目、専門科目を適切に配置し、創造性豊かな技術者、研究者として将来活躍するための知識及び技術を習得できるように体系的に教育課程を編成します。

（1）創造工学科のカリキュラム・ポリシー

- （A）知識を統合し多面的に問題を解決できる構想力を身につけるため、グループワークを取り入れた科目や卒業研究などを編成しています。
- （B）専門分野の基礎としての数学など自然科学の知識を身につけるため、数学、物理、化学、生物に関する科目を編成しています。
- （C）論理的表現力と外国語によるコミュニケーション能力を身につけるため、国語、英語、第二外国語に関する科目を編成しています。
- （D）専門分野の知識と情報技術、ものづくりに幅広く対応できる能力を身につけるため、専門基礎、情報処理、実験・実習などの科目を編成しています。
- （E）幅広い教養と技術者・研究者としての倫理を身につけるため、人文社会に関する科目を編成しています。

（2）専門コースのカリキュラム・ポリシー

各専門コースでは、専門分野の知識と技術を身につけるため、以下の方針に従ってカリキュラムを編成しています。

【機械コース】

機械工学分野の専門知識と技術を身につけるため、機械、メカトロニクス、材料工学に関する授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。本コースのカリキュラム・ポリシーは4・5年生時で選択可能なデザイン工学分野、メカトロニクス分野、資源エネルギー分野、材料工学分野にも適用します。

【電気・電子コース】

電気電子分野の専門知識と技術を身につけるため、エレクトロニクス、情報・通信、電気エネルギーに関する授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。本コースのカリキュラム・ポリシーは4・5年生時で選択可能なエレクトロニクス分野、メカトロニクス分野、資源エネルギー分野、材料工学分野にも適用します。

【情報コース】

情報工学分野の専門知識と技術を身につけるため、ハードウェア、ソフトウェア、情報通信技術に関する授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。本コースのカリキュラム・ポリシーは4・5年生時で選択可能なITソフトウェア分野、メカトロニクス分野にも適用します。

【化学・生物コース】

化学・生物分野の専門知識と技術を身につけるため、物質・材料、生物工学に関する授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。本コースのカリキュラム・ポリシーは4・5年生時で選択可能な環境バイオ分野、資源エネルギー分野、材料工学分野にも適用します。

【デジタルデザインコース】

デジタル・リベラルアーツを主軸とし、工学技術（機械、電気電子、情報）、化学・生物学のいずれかの専門知識と技術を身につけるため、機械、メカトロニクス、材料工学、エレクトロニクス、情報・通信、電気エネルギー、ハードウェア、ソフトウェア、情報通信技術、制御工学、物質・材料、生物工学のいずれかに関連したデータサイエンス、AIなどを活用した授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。

2 学習方法・学習内容に関する方針

編成した教育課程を通じて学修成果が効果的に得られるよう、低学年から専門科目を少しずつ配置する「くさび型教育」の特徴を活かし、講義、演習、実験・実習による授業を実施します。専門知識の定着と活用力を涵養するため、アクティブ・ラーニング型の授業を行います。

3 学修成果の評価

全ての科目はシラバスに明示した学修到達目標を達成するために、試験、小テスト、レポート等を用いて総合的に評価しています。従って、各科目の合格により、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を身につけたと見なされます。